

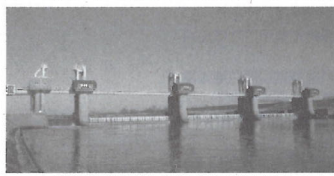
水を大切に 使い、節水を 心がけよう

荒川上流河川事務所 × ブルーモーメント (KADOKAWA)

川の水量は季節によって変化します

今年の夏、関東では猛烈な暑さが続きました。局地的には大雨が降ったものの、肝心のダムそばでは雨量が少なく、一時は水不足が心配されました。

川の水量は季節によって変化します。そのため、荒川では上流のダム群や荒川貯水池を効率的に運用して、水の安定的な確保に努めています。蛇口からいつでも水が出る、と思いませんか？ 普段から水を大切に使い、節水を心がけましょう。



荒川の秋ヶ瀬取水堰。東京と埼玉の暮らしを支えています



「水が出るのは当たり前じゃな
でも、それは奇跡なんだ」
荒川が支える暮らしの水――。

安定的な水利用を支える統合管理

荒川の上流部には二瀬ダム、浦山ダム、滝沢ダムが、下流部には荒川貯水池があります。気象条件や貯水状況に合わせて、川の水量や取水量を一元的に把握し、ダムの放水量を調整する「統合管理」を行っています。



荒川上流にある滝沢ダム

都市部に広がる平地のダム「彩湖」

荒川貯水池・彩湖(さいこ)は、都市用水を安定的に供給する平地にある「ダム」です。併せて、隣接する浄化施設では、水利用によって河川環境が悪化しないよう水量調整を行っています。2つの施設が連携して、首都圏の生活や産業を支えています。



荒川第一調整池にある彩湖

利根川の水を荒川へ 武蔵水路

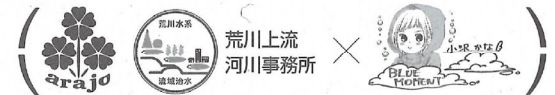
「利根川導水総合事業所」で検索



武蔵水路は利根川と荒川をつなぐ「水の大動脈」で、利根大堰で取水された水を荒川へ運んでいます。利根川の水を合わせた荒川の水は、埼玉・東京の「暮らしの水」として利用されています。



利根川の水を運ぶ「大動脈」



漫画家・小沢かなさんの「BLUE MOMENT ブルーモーメント」(KADOKAWA 刊、荒木健太郎監修)と荒川上流河川事務所がコラボしました。

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町3-12 TEL:049-246-6371 <https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo>



荒川上流 で検索